

第7号議案

社会資本整備総合交付金事業(公園)

たたらぬまこうえん たてばやし おうらぐんおうらまち
多々良沼公園 館林市、邑楽郡邑楽町着工年度
評価理由

平成10年度

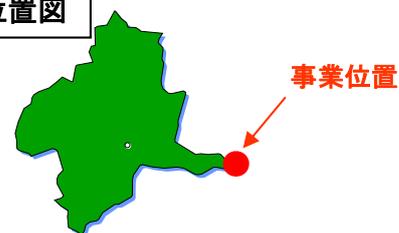
再評価後
5年経過

1. 事業の目的

『多様な主体の参画による自然環境の保全・復元を目的とした都市公園の整備』

- ・周辺の都市化等の進展により失われつつある多様な生態系を保全・復元する。
- ・人と自然とのふれあいの場や市民の環境保全活動の拠点を整備をする。
- ・美しい多々良沼の景観を創出する。

位置図



2. 事業概要と進捗状況

事業概要

事業場所	たてばやしまつめまちよう おうらぐんおうらまちおおざうずらしんでん 館林市松沼町 ~ 邑楽郡邑楽町大字鶉新田	
区分	今回	前回評価時(H19)
全体事業費	3,420百万円	3,420百万円
事業期間	H10~H28	H10~H28
事業内容	公園区域 A=109.6ha (うち整備区域 A=18.0ha)	公園区域 A=109.6ha (うち整備区域 A=18.0ha)

※公園区域のうち、整備区域以外(91.6ha)は湖沼部等の保全区域

事業経緯

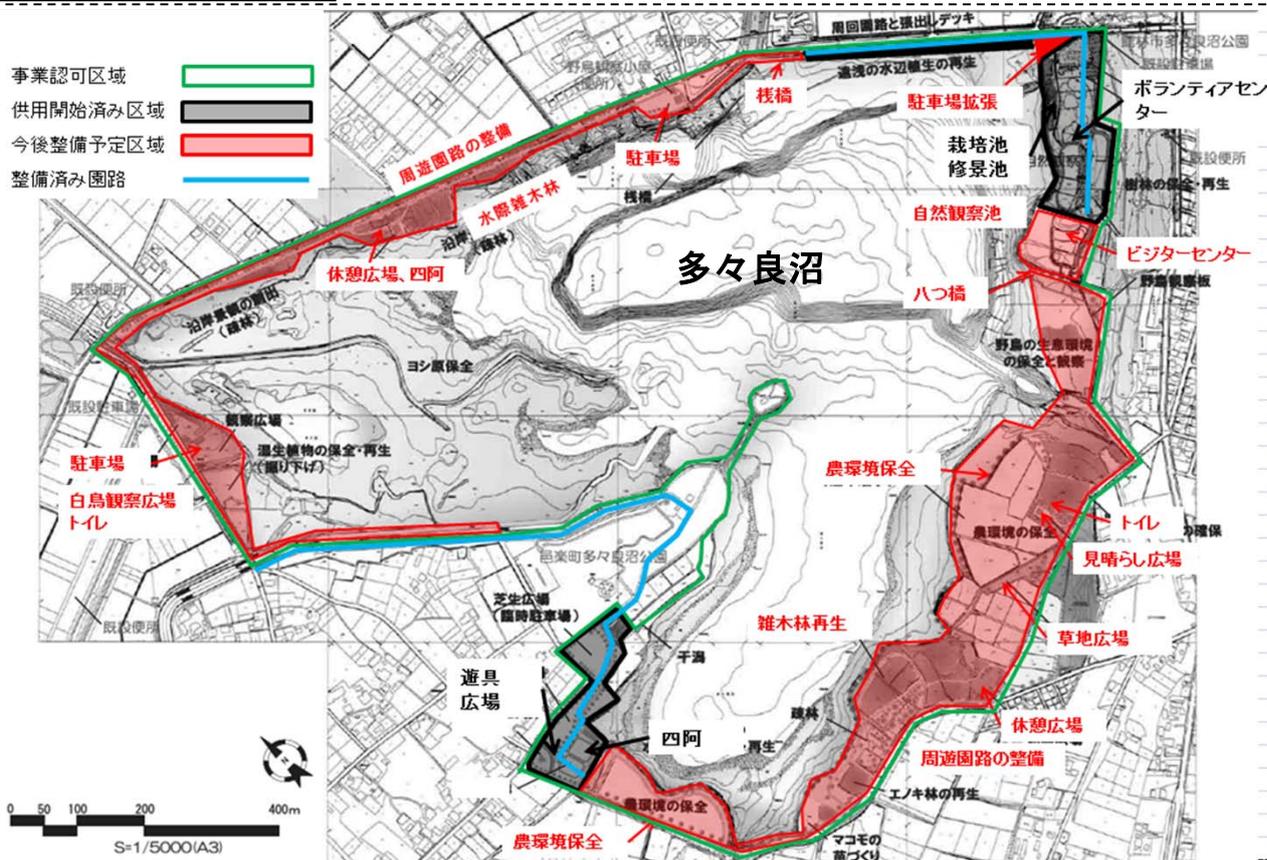
年度	主な経緯
H10	用地買収着工
H10	工事着工
H20	自然観察ゾーン供用開始(3.3ha)
H22	いこいと花のエリア供用開始(1.5ha)

進捗状況

	全体計画	現在の進捗状況 (進捗率)	前回評価時の進捗状況 (進捗率)
事業費	3,420百万	2,237百万円 (65.4%)	1,991百万円 (58.2%)
用地買収	255,291m ²	201,637m ² (78.9%)	169,656m ² (66.4%)
供用面積	18.0ha	4.8ha (26.7%)	0m ² (0%)

2. 事業概要と進捗状況(図面・写真等)

1. 事業計画平面図



2. 実施済み箇所写真

いこいと花のエリア



自然観察ゾーン



3. 事業の目的・必要性に変化はあるのか？

・周辺住民及び、以前から県との協働で活動している「多々良沼公園を愛する会」などの多くのボランティア、市民団体などからの生物多様性保全、環境保全、景観形成等に関する公園整備への要求は、以前に比べ更に高まっており、目的・必要性に変化はない。

白鳥飛来状況



住民活動の様子



白鳥観察の様子



4. 目的を達成するための事業(手段)は適切か？

・自然環境保全・復元などの事業目的に対する効果を更に高めるため、地域住民や学識経験者などにより構成された「多々良沼・城沼自然再生協議会」を平成22年度に設立し、今後の自然再生手法について検討を進めており、その上で、従前計画通りに順調に事業実施をしている。



費用便益分析

		計画・前回再評価時		今回再評価時		備考	便益説明
算出根拠マニュアル		「改訂第2版大規模公園費用対分析マニュアル(H19.6)」		「改訂第2版大規模公園費用対分析マニュアル(H19.6)」			
基準年		H19		H23			
区分	項目	現在価値	構成比	現在価値	構成比		
費用 (千円)	工事費用地費	3,458,300	83.8%	4,011,860	85.4%		
	維持管理費	666,700	16.2%	683,380	14.6%		
費用合計(C)		4,125,000		4,695,240			
便益 (千円)	利用便益 (直接便益)	8,909,600	54.3%	9,186,090	42.0%		
	環境便益 (間接便益)	5,176,600	31.5%	7,823,070	35.7%		
	防災便益 (間接便益)	2,336,300	14.2%	4,884,320	22.3%		
便益合計(B)		9,865,300		21,893,480			
費用対効果分析(B/C)		3.98		4.66			

5. 事業が長期間要している理由は？

元々が長期計画

不測の事態により長期化】

・本事業は、より持続的かつ効果的な自然環境の保全・復元を行うため、周辺住民の意見を聞き、環境調査等を行いながら実施することとしていることから、従前より長期にわたる整備計画となっている。

6. 事業の対応方針は？

事業継続

事業中止

変更なし ・ 事業計画の変更 ・ スケジュールの変更

- ・従前からの計画通り、順調に事業進捗しており、今後も継続して事業実施を行う。
- ・本事業は、多様な主体の参画による自然環境の保全・復元を目的とした都市公園を整備を目的としている。
- ・より持続的かつ効果的な自然環境の保全・復元を行うため、周辺住民の意見を聞き、環境調査等を行いながら事業実施することとしていることから、従前より長期にわたる整備計画となっている。
- ・平成19年度に、事業効果をより高めるため、自然を大切にする観点から住民参加にて必要性を再検証し、総事業費を56億円から34億円までに縮減している。
- ・事業目的に対する効果を更に高めるため、地域住民や学識経験者などにより構成された「多々良沼・城沼自然再生協議会」を平成22年度に設立し、今後の自然再生手法について検討を進めながら、今後も従前計画に基づき事業実施を行う。